

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		障害児通所支援事業ののルーム港店				公表日	8年 3月 4日	
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100.00%		活動に合わせて十分なスペースが確保されている。			
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100.00%		職員の配置数は確保できている。				
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	60.00%	40.00%	トイレなど設備構造上無理な所はあるが、手すりなど利用者に対応しながら設備の充実を行っている。	すべてがバリアフリーではないが、利用者に配慮しながら設備に対し工夫をしていきたい。			
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100.00%		活動に合わせた空間を作っている。				
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100.00%		利用児の状態に応じ、別の部屋も用意できている。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100.00%		職員間での話し合いや情報提供を行っている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.00%		アンケートの内容を参考にし、話し合いを行い業務改善に繋がるようにしている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.00%		朝礼の際意見を話し合い、それ以外にもお互いに意見を伝え合い、業務改善につなげている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100.00%		外部評価を参考にし業務改善に繋がるように努力している。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100.00%		研修会や勉強会には出来るだけ参加し、資質の向上や他事業所の職員との交流を図る。			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100.00%		AIセラピストを導入し、作成・公表を行っている。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100.00%		AIセラピストを導入し、まずは保護者からのアセスメントシートでのニーズや課題を分析し、その後の発達に応じた支援計画を作成している。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100.00%		朝礼やその他の必要な会議で子供の状況を話し合ったり、アセスメントシートを全員で見直ししたりで、共通理解のもと作成を行っている。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100.00%		作成した支援計画は職員間で確認・共有し、計画に沿った支援を行っている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100.00%		日々の行動観察記録を確認し、必要に応じて話し合いを行う。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100.00%		ガイドラインを基本として子供の特性や家族のニーズに合わせての支援内容を設定している。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100.00%		全職員で活動内容を話し合い共有し、活動プログラムを作成している。			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100.00%		活動内容が固定化しないように、子供のニーズに合わせて話し合いを行う。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100.00%		子供の状況確認しながら対応を行う。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100.00%		朝礼等で打ち合わせや情報共有を行い、連携しての支援が出来るように図っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100.00%		朝礼等で情報共有を行い、支援内容の振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100.00%		個別支援計画に基づき、日々の記録をケース記録に記載し、支援の検証・改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100.00%		職員全員で個々のアセスメントシートの見直しを行い、児発管が必要性を判断し定期的なモニタリングを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100.00%		利用児の特性に合わせて、個別支援計画に組み込んで支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100.00%		いくつかの選択肢を提案し、自己決定が出来るように支援を行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100.00%		児発管が参加しているが、必要に応じて他の職員の参加も考えている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100.00%		連携の体制は出来ている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100.00%		情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100.00%		必要に応じて情報提供をお願いしている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100.00%		情報提供している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100.00%		定期的な研修や連絡会に参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	60.00%	40.00%	コロナ前は児童館等で障害のない子供たちとの交流も見られたが、現在は郊外療育のみでの交流となっている。	児童館や郊外療育で、地域の子供たちとの交流を図っていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100.00%		参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100.00%		連絡帳の活用や、送迎時に保護者に丁寧に報告をしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100.00%		必要に応じて出来る限り保護者の悩みや課題に寄り添うようにしている。	年に2~3回家族参加できる行事の開催。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100.00%		見学時や契約時に丁寧な説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100.00%		AIセラピストでは保護者からのアセスメントシートを基に作成、子供や家族の意向も確認する。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100.00%		説明を行い、同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100.00%		定期的ではないが必要に応じて支援を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	100.00%		年に数回保護者や兄弟が参加できる行事を企画し、交流する機会を創っている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100.00%		担当職員が速やかに対応を行っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100.00%		毎日の活動状況はブログで、年間行事等はプリントにて配布している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.00%		同意書を取り交わし、職員一同十分に注意を行っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100.00%		子どもの特性に応じて、理解が得られるような伝達方法を心掛けている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	60.00%	40.00%	コロナ以降地域との交流は難しくなっている。	以前のように七夕や町会の祭りなどに参加できるように交流を考えている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		マニュアルを作成し契約時に配布し説明を行っている、また職員間でも周知し、年3回の避難訓練も行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100.00%		定期的に年3回の避難訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100.00%		契約時の際保護者から聞き取りを行い、新たな服薬等が始まった時は、再度保護者に聞き取りを行う。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100.00%		契約時に保護者からの聞き取りを行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100.00%		安全計画を作成済みであり、必要に応じて研修や訓練を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100.00%		安全計画は作成済みであり、季節ごとの安全計画にのっとりその都度家族に周知していく。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100.00%		ヒヤリハット事例が発生した場合は、記録に記載するとともに、報告書を作成し全職員で再発防止対策を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100.00%		研修会参加や所内で虐待防止委員会を開催している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100.00%		対象になりうる児童に身体拘束の同意書を作成し、保護者に説明後個別支援計画書に記載する。		